

事案名	五泉市の事案（新潟県 15 - 1 - 1）
フォローアップ調査資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「本邦化学兵器技術史〔年表〕」昭和32年〔1〕 ・証言（住民の証言）〔2〕 ・現況の写真〔3〕
追加資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』フォローアップ調査結果の確認・再調査について（報告）」〔A1〕 ・「『国内における毒ガス弾等に関する調査』の情報について」〔A2〕 ・「国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会（第8回）」資料8〔A3〕
平成15年度フォローアップ調査報告書の要約	<p>戦時中、五泉市内に第6陸軍技術研究所の一部が疎開していた。同市には、終戦までの2年間研究所のような施設があり、終戦当日に敷地内においてガラス瓶等を埋設したとされている。</p> <p>生産・保有情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終戦時、第6陸軍技術研究所五泉分室では、ガス性状・ガスの検知体系を研究していた（体制は約40名、所在地の記載なし）〔1〕。 <p>廃棄・遺棄情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・証言者（住民）によれば、終戦までの約2年間、五泉市内に研究所のような施設が開設されていたが、何が行われていたのかは不明である。また、同証言者によれば、同施設宛の荷物の運搬を当時担当していた人物（役場職員）から、入口に防毒マスクが並んでいたこと、終戦の日に、その施設の敷地内に書類やガラス瓶を埋設したのを目撃したという話を聞いた。そしてさらにその人物は、市内の川に捨てられていた缶を開けた子どもが被害を受けたという噂を聞いたと同証言者に語ったという〔2〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同地域は、現在、住宅地・事業所等になっている。〔3〕。
新たな情報	<p>その他情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガラス瓶の埋設情報がある施設周辺には当時、民間の研究所があった〔A1〕。 ・平成15年11月に県が実施した地下水の水質調査では、全シアンは$< 0.01 \text{ mg/l}$で検出されず、ヒ素は、環境基準値（0.01 mg/l）以下であった〔A2〕。 ・平成16年10月に環境省が実施した19検体の地下水調査の結果、毒ガス成分は検出されなかった〔A3〕。

事案名	五泉市（河川）の事案（新潟県15-1-2）
フォローアップ調査資料	・証言（住民の証言）〔2〕
追加資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「旧軍毒ガス弾等の追加情報について（報告）」〔A1〕 ・「『国内における毒ガス弾等に関する調査』の情報について」〔A2〕 ・『平成16年度B/C事案における第2次地下水調査業務 報告書』〔A3〕
平成15年度フォローアップ調査報告書の要約	<p>市内の川に捨てられた缶を開けた子どもが被害を受けたとされている。</p> <p>廃棄・遺棄情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・証言者（住民）によれば、終戦までの約2年間、五泉市内に研究所のような施設が開設されていたが、何が行われていたのかは不明である。なお、同証言者によれば、同施設宛の荷物の運搬を当時担当していた人物（役場職員）から、入口に防毒マスクが並んでいたこと、終戦の日に、その施設の敷地内に書類やガラス瓶を埋設したのを目撃したという話を聞いた。そしてさらにその人物は、市内の川に捨てられていた缶を開けた子どもが被害を受けたという噂を聞いたと同証言者に語ったという〔2〕。
新たな情報	<p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能代川で被災した少年Aの兄にあたる人（当時、現場にはいなかったが話を伝え聞いた人）は「昭和21年7月頃、能代川で水泳をしていた子ども達が、捨てられたドラム缶を発見し、引き上げ、ふたを開けたところ液体と鉛の棒がはいっていた。鉛の棒を引き上げたとき、液体がそばにいた少年Aにかかり、液体に触れた部位（顔・手）が焼き爛れ、医師の治療を受けたが、その際、まわりにいた4～5人も化学熱傷を負った。A氏は、手の指が癒着したため、後年、分離の手術を行ったり、目にも障害が残り、『角膜の移植』手術を行った。ドラム缶はその後、川べりに放置されたようであるが、後日、米軍が来てドラム缶に穴を開け、焼却していった」等と証言している〔A1〕。 <p>その他情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能代川では昭和30年代に蛇行部を直線化する工事が実施されている（正確な時期と工事内容は不明）。空中写真によれば、昭和22～23年と昭和40年では河道の変化が認めら

	<p>れる〔A2〕。</p> <ul style="list-style-type: none">・環境省が実施した地下水調査の結果、毒ガス関連成分は検出されなかった〔A3〕。
--	--